

(別記様式第3号)

## 普及活動検討会実施報告書

(仙台) 農業改良普及センター  
実施月日：令和2年2月3日  
実施場所：仙台合同庁舎202会議室

### 1 検討内容

No	検討項目
(1)	令和元年度普及指導活動の状況について イ 令和元年度普及活動について      ロ 台風被害への対応について
(2)	令和2年度普及指導計画(案)について イ 令和2年度普及活動計画について      ロ プロジェクト課題の取組について (令和元年度の取組状況を踏まえて)
(3)	総合検討

### 2 検討委員の構成

(単位：人)

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	0 (2)	生活者	
若手・女性農業者	1	学識経験者	1
市町村	3	マスコミ	
農業関係団体	2	民間企業	

※ ( ) 計画委員数

### 3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果 (コメント, 評価表の要約)	普及センターとしての対応方向
(1) 令和元年度普及指導活動の状況について			
イ 令和元年度普及活動について	4	<ul style="list-style-type: none"><li>技術と経営, 土地利用型と果樹経営, 平地と中山間地等, バランスのとれた普及活動を展開している点は高く評価できる。</li><li>台風19号により被災し, 計画を断念せざるを得ない状況になった取組もあったが, それぞれ成果が出ていると感じた。今後もこれまでの状況・データ等細かに分析しながら対応してほしい。</li></ul>	頂いた意見を参考に令和2年度の普及活動に取り組んでいきます。
ロ 台風被害への対応について	4.3	<ul style="list-style-type: none"><li>専門分野に応じたユニット制を構築し, 補助事業や支援事業の内容を事前に共有したことで, 現場ニーズに迅速に対応できたことは良い取組みである。</li><li>被災直後から迅速に農業者や市町村に寄り添った対応した点は評価できる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>今後も引き続き, 台風被災地の農業者や市町村に寄り添った活動に努めていきます。</li><li>また, 今回の活動経験を将来の災害対応に生かし, よりスムーズな支援につなげていきたいと思えます。</li></ul>
(2) 令和2年度普及指導計画(案)について			
イ 令和2年度普及活動計画について	3.9	<ul style="list-style-type: none"><li>ICTを導入したスマート農業, 高い安全性等に対応するためのGAP, 多様なニーズに応えるための6次産業化, 新規作物の導入支援等々バランスのとれた普及活動計画である。</li><li>農業者が相互に連絡をとったり, 勉強会を開いたり, ネットワークを築く機会があると, 農業普及の効率性は一層高まると期待できる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>頂いた意見を参考に令和2年度の普及活動に取り組んでいきます。</li></ul>

ロ プロジェクト課題の取組について			
N01 省力化技術導入による大規模土地 利用型経営体の生産性向上	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水稲直播栽培では、成果が出てきている。最終年は高い目標設定となっているので、これまでの技術的な積み上げをもとに目標達成できるよう支援をお願いします。</li> <li>・ また、経営継承の取組は、法人だけでなく家族経営の参考になる。専門家の指導も取り入れ、具体的な計画が作成されることを期待する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直播栽培では、整理した課題を中心に技術習得を進め目標を達成できるよう支援していきます。</li> <li>・ 円滑な経営継承に向けて計画作成を支援していきます。</li> </ul>
N02 中山間地域農業を支える地域営農 体制の構築	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長ねぎ、たまねぎ、ジャンボニンニク等を検討している中で、品目相互の関連性を検討すべき時機にきている。1年を通した営農計画が求められている。</li> <li>・ 普及活動にあたり考えるべき内容、すなわち学ぶべきことが多く含まれている課題であると期待しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度は、地域の具体的な将来像が決定する重要な年ですので、いただいた意見を参考に地域に寄り添って丁寧に支援していきます。</li> </ul>
N03 G A Pを活用した現場力の向上	4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ G A P取得をきっかけに、問題発見から経営改善までを組織的に行おうとする課題は、一見農業とはかけ離れているように見えるが、農業経営の本質に迫っている課題であると高く評価する。</li> <li>・ パートが自主的に作業改善に取り組むようになったが、それが継続できるよう、社内意識の定着に向けた取組を期待する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合いが定着し、自主的に作業改善策を提案・実施するようになるよう引き続き支援していきます。</li> </ul>
N04 6次産業部門の改善による経営力 の向上	4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原価計算にとどまらず、品目毎や販売先毎の利益率を計算し、経営全体を見直し、営業利益率を向上させた成果は高く評価できる。令和2年についても効果の検証を基にした計画をもとに経営状況の更なる改善に向けた取組を期待する。</li> <li>・ 売り場の売り上げ状況を見て、量や提供品物を変えるとさらに収益向上が期待できる。次年度の活動の参考にして欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 販売計画作成時に、販売先毎の売上に応じた、商品と数量の振り分け等を支援し収益向上につなげたいと思います。</li> </ul>
N05 先進的園芸経営体技術向上支援による経営安定	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 台風被害により十分活動できなかつたが、今後、経営安定のために支援が必要、期待する。</li> <li>・ データの収集だけでなく、活用が重要。収集したデータを作業管理等にも活用して欲しい。今後の農業には重要な課題。</li> <li>・ 作業精度の平準化は必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生育調査データ等を収量予測や人員配置に活用したりすることを検討しています。今後も、データを収集するだけでなく、活用できるよう支援していきます。</li> <li>・ マニュアルの作成や作業の見直しにより作業精度の平準化、作業改善が実施できるよう支援していきます。</li> </ul>
(3) 総合検討		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業普及活動においては、農業士からの意見や要望がとても重要だと考えています。</li> <li>・ 小さな農家、集団にも支援お願い致します。最近普及センター先生方がとても遠く感じられます。</li> <li>・ 時間的な制約はあるでしょうが現地視察、現場の声を聞きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 頂いた意見を令和2年度の普及活動検討会の運営に活かしていきます。</li> </ul>